

群馬大学中央図書館 2020年1月-3月期 教員展示

監修：鳥居 征司 教授（群馬大学 食健康科学教育研究センター）

インスリンの発見からおよそ100年。インスリンに関する研究では何組ものノーベル賞が生まれ、近年における生命科学発展の象徴と言えます。

しかし、その実体や機能のすべてが解明されたわけではなく、いま現在も活発な研究が続き、新たな発見がなされています。糖尿病などの疾患のみならず、老化や寿命の調節に関する研究は注目されるトピックスです。

今回の展示と講演では、このダイナミックなインスリン研究の歴史を一般向けに紹介します。また、群馬の「食と健康」に関わる幅広い研究を推進する食健康科学教育研究センターの研究活動から2題（「海洋プラスチック問題への挑戦：未来の食品包装素材の開発」、「農業や健康に関わるさまざまな生物たちの共生関係」）についても紹介します。

現在も続いている未知との遭遇

インスリン研究100年

図書
展示

1/29
~3/31

中央図書館
1F
教員展示
コーナー

アゴラカフェ
ミニレクチャー
(講演)
Vol.24

3/6 金

申込不要
入場無料

14:00
~15:00

講師
鳥居征司
教授

中央図書館
1F
セミナー室

お問い合わせ

群馬大学中央図書館
前橋市荒牧町4-2（群馬大学荒牧キャンパス内）
TEL. 027-220-7185 <https://www.media.gunma-u.ac.jp>

